



砂中だより

第278号

令和8年7月17日

江東区立砂町中学校

校長 小野 享洋

自分だけの「特別な夏」を創り出そう

校長 小野 享洋

新緑のまぶしかった季節から、本格的な夏の到来を迎える季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対し、温かいご理解と多大なるご協力をいただき、教職員一同、心より感謝申し上げます。

一学期の約四ヶ月間、生徒たちは新しい環境の中で、本当に目覚ましい成長を見せてくれました。学校の顔である三年生は、運動会で強い責任感を持って全校を牽引し、同時に九月の長崎修学旅行に向けた深い平和学習にも真剣に取り組み、砂町中の誇るべきリーダーとしての姿を見せてくれました。その先輩の頼もしい背中を追いかけて、二年生と五組は移動教室での集団行動を通じて「協働する力」を育み、一年生は戸惑いながらも一步一步前を向き、立派な「中学生の顔」へとたくましく成長しました。日々の授業や部活動、行事の中で見せてくれた生徒たちの真剣な眼差しや仲間と協力し合う姿は、私にとって大きなエネルギーとなっていました。本当に、よく頑張りました。

いよいよ、四十二日間にわたる長い夏休みが始まります。

明日からは、チャイムの鳴らない毎日が待っています。先生や家族に言われて動くのではなく、「自分で決めて、自分で行動する」という、生徒たちの自立心が試される大切な期間です。この夏休みを最高のものにするために、生徒たちには「三つの挑戦」を提案しています。

1. 「心のエンジン」を自分でかける

(生活リズムを整え、自分で決めたルールを守る)

2. 「今しかできないこと」に熱中する

(部活動や読書、地域活動など、時間を忘れて打ち込む)

3. 次のステージへの「土台」を築く

(三年生は進路という壁に向き合い、一・二年生はこれまでの学習を振り返る)



特に、この夏休みに実施する「三者面談」は、これまでの頑張りを認め、未来に向けてさらに自分を伸ばすための前向きな「作戦会議」にしたいと考えております。ご家庭におかれましても、ぜひお子様の「成長した部分」に光を当てていただき、これからの可能性を一緒に広げるような温かい言葉がけをお願いいたします。

長い夏休み、生徒たちが過ごす場所は学校から家庭や地域へと移ります。生徒たちが事件や事故に巻き込まれることなく、安全で健康に、そして命を大切に過ごせますよう、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、引き続き温かい見守りとご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

ひと回りもふた回りも逞しく成長した生徒たちと、九月一日の全校集会で、最高の「元気な笑顔」で再会できることを楽しみにしております。さあ、自分だけの、一生モノの夏を創り出しに出かけましょう。

家庭や地域で、社会の一員としての「一歩」を

学校という枠を離れる夏休みは、家庭や地域の中で「一人の大人」として自立する絶好のチャンスです。

ご家庭では、ぜひ何か一つ「我が家の役割（お手伝い）」を決めて、毎日継続させてください。「料理を1食分つくる」「お風呂掃除をする」など、家族のために汗を流す経験は、普段の当たり前前の生活への感謝を生み、強い自己有用感を育てます。

また、この夏は地域でも多くのお祭りや行事が開催されます。単にお客さんとして楽しむだけでなく、準備や片付け、ボランティアなど「地域の支え手」として一歩踏み出してみましょう。地域の方々と顔見知りになり、つながることは、いざという時にお互いを守る確かな防災力にもなります。

家庭で役割を果たし、地域で社会とつながる。そんな豊かな経験を通じて、砂町中の生徒たちが自立した社会の一員として、さらに頼もしく、温かい心を育てていくことを楽しみにしています。



今後の主な行事

7月21日(火) 夏季休業始 補充教室(～27日)

7月21日(火)～ 三者面談(学級からのお知らせをご確認ください)

8月8日(土)～17日(月) 学校閉庁期間

閉庁期間中の緊急連絡先

江東区教育委員会事務局指導室(電話:03-3647-9179)

または江東区役所(電話:03-3647-9111)

8月31日(月) 夏季休業終

9月 1日(火) 全校集会 給食始 防災措置訓練

9月 8日(火)～10日(木) 前期期末考査

その他詳細は学年だよりや「すぐーる」の配信をご確認ください。